

0 理念・目的・教育目標

進捗状況報告

1. 高度な資質を持つ教員の養成

センターでは、単に全学に提供する「教職に関する科目」のカリキュラム運営だけでなく、学校ボランティア等への学生の参加の促進や、学生の自主的な活動である「勉強会」へのセンター教員による指導・助言、学生相談室における指導・助言などを継続的に実施して、教職への高い使命感を持った教員を送り出すように務めている。2007年度には、神戸三田キャンパスでも「勉強会」が活発になってきた。また、教員採用試験に向かって、非常勤講師（本学OB）の協力を得て、上ヶ原、神戸三田のそれぞれのキャンパスにおいて模擬面接等の指導も行っている。これら学生への日常的な支援を行うには様々な制約（時間、場所、人）があるため、必ずしも充分とはいえない。改善の要望を関係部局へしていきたい。

2. 教育委員会等との連携による共同研究の推進、学校教育の充実等への貢献

神戸市教育委員会との福祉に関する共同研究「福祉教育の共同教材研究・教材開発」を2004年度より3年間実施し、その成果報告書を2007年3月末に刊行した。また、兵庫県教育委員会の付託を受けて「英語教員集中研修」「県立高等学校10年研修者研修」を実施。その他兵庫県、神戸市、京都市、伊丹市、宝塚市などの教育委員会からの依頼による「スクールサポーター」「インターンシップ」等に学生を派遣しているだけでなく、京都府及び富山県教育委員会からの依頼を受けて、毎年5名前後の小学校、中学校の現任教員を受託研究員として受け入れ、教員の資質向上に寄与している。加えて、2007年度から兵庫県立夢野台高等学校に開設された設定教科「教職」・科目「教育入門」において、本センター専任教員全員が担当者として分担して講義を行った。2008年度も継続中である。

3. 教育的・学問的資質を有した博物館学芸員の育成

博物館学芸員担当副センター長のもと、現職の博物館学芸員で博物館学芸員課程の授業担当者（非常勤講師）の協力を得て、著名な美術館・博物館への実習を行い、高い資質を持った博物館学芸員の養成に努めている。また、オリエンテーションを開催して、博物館学芸員の業務内容や、就職状況等進路指導等も行うなど、きめ細かな指導を行うように努めている。2007年度は、33館へ69名の学生を派遣した。毎年50～60名の学生を30館前後に派遣しているが、センター教員による実習指導をより充実させ、「関学らしい学芸員」を育てるためにも大学博物館が早期に開設されることを期待している。

学内第三者評価

高度な資質を持つ教員の養成という点について、学生の「勉強会」や模擬面接のサポート等、活発な教育活動が行われている。また神戸市教育委員会との協同研究等、社会への貢献という点でも着実な成果を上げていると認められる。加えて、高度な教員になるために、学生が現実にはどのような教育のニーズを持っているのかを把握することを社会から求められており、その方法を検討することが望まれる。